アルメニア概要
Republic of Armenia

（一社）ROTOBO
2025年９月現在

１．基本情報

（１）地勢：コーカサス山脈の南に位置する旧ソ連最小の内陸国。国土の９割が標高1,000ｍ以上の高地に位置する。周囲を囲むトルコ、ジョージア、アゼルバイジャン、イランのうちアゼルバイジャン・トルコとの間に深刻な対立を抱えていたが、改善に向かっている（後述）。
（２）面積：２万9,743km^2（日本の約13分の1）
（３）人口：308万人（2025年初）*
（４）首都：エレバン市（109.5万人／2023年）**
（５）主要都市：ギュムリ、ヴァナゾルなど
（５）民族：アルメニア人（98.1%）、ヤジディ教徒（1.1%）、その他（0.8%）（2022年推計）**
（６）言語：アルメニア語（印欧語族の独自の一派で独自の文字を持つ）。ただし、ロシア語も広範に使用される。
（７）宗教：アルメニア正教（キリスト教東方教会系の一派）。

*出所：*アルメニア統計委員会、**The World factbook (Armenia - The World Factbook (cia.gov))

２．政治情勢

（１）独立　1991年９月　独立宣言（それまではソ連邦を構成するアルメニア・ソビエト社会主義共和国）
（２）大統領と首相

◆大統領：ハチャトゥリャン, V.（KHACHATURYAN, Vaagn/ Vahagn）
1959年生（65歳）。1992～1996年エレバン市長、1995～1999年アルメニア共和国議会議員、1996～1998年大統領顧問。2021年８月よりハイテク産業大臣を務めていた。2022年１月、前任のサルキシャン大統領の辞任（大統領権限の無力化への抗議が理由とされる）を受けて実施された同年３月の大統選で選出。任期７年。2015年の憲法改正により、行政権は実質的に首相に移行している。

◆首相：パシニャン, N.V.（PASHINYAN, Nikol Vovayevich）
1975年生（49歳）。ジャーナリストであったが2012年５月の議会選挙で当選、国民議会議員に。次回2017年４月の選挙で「エルク」党から立候補して再選。2018年５月、S.サルグシャン前首相の辞任（2008～2018年３月まで大統領。権力強化した首相に就任することにより更なる長期政権を目指したが、大規模な抗議行動がおきて辞任した）を受けて首相に就任、同年12月に前倒し実施した議会選挙で、同氏が党首を務める「我が歩み」党が約７割の支持を得て圧勝、権力基盤を固めた。しかし2020年９月に勃発した第二次ナゴルノ・カラバフ紛争の敗戦により退陣要求が高まったことから、事態収拾のため2021年６月に前倒し議会選を実施。同氏率いる与党が過半数を得て勝利し、同年8月、首相に再任。

（３）特記事項：ナゴルノ・カラバフ紛争
アゼルバイジャン領内でアルメニア系住民が居住するナゴルノ・カラバフをめぐるアルメニアとアゼルバイジャンの紛争。1994年５月に停戦に至った第一次紛争ではロシアの後ろ盾でアルメニアが勝利。以降、ナゴルノ・カラバフ自治州とその周辺を含むアゼルバイジャンの領土約20%を「ナゴルノ・カラバフ共和国」としてアルメニアが実効支配する状態が続いた。しかし2020年９月に勃発した第二次紛争ではアゼルバイジャン側が圧勝、ナゴルノ・カラバフ本土の約４割と緩衝地帯の全てを奪還し、11月に一旦停戦が成立した。し

かし2023年９月19日、アゼルバイジャンが再び大規模な軍事作戦を開始、首都ステパナケルトが陥落したことから、９月28日に「ナゴルノ・カラバフ共和国」行政府は翌年１月１日をもって存続を停止する旨の大統領令を発表。同共和国は事実上消滅した。

３．経済状況

（１）経済水準

（イ）GDP（2024年）：　257.9億ドル（世銀）

（ロ）国民１人当たりGDP（2024年）：　8,500.6ドル（世銀）

（２）主要産業・輸出品

（イ）主要産業：農業、食品加工、宝飾品加工（ダイヤモンド）、IT産業等

（ロ）主要輸出品：銅鉱石、ダイヤモンド、金、タバコ、アルコール飲料、合金鉄

（３）経済指標（前年比増減率、％）

表　アルメニアの主要経済指標（CIS 統計委員会）

（前年同期比実質増減率、％／インフレ率のみ年平均、％）

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
国内総生産（GDP）	7.5	5.2	7.6	▲7.4	5.8	12.6	8.3	5.9
鉱工業生産	12.3	4.2	8.8	0.6	3.7	8.7	6.4	4.7
農林水産業生産	▲2.4	▲7.2	▲4.1	3.2	▲0.9	0.4	▲0.3	1.6
固定資本投資	2.4	4.4	5.1	▲9.6	11.4	12.5	14.8	14.5
商品小売販売高	5.6	1.3	7.9	▲17.7	2.5	4.0	14.2	4.1
インフレ率（消費者物価指数）	1.0	2.5	1.4	1.2	7.2	8.6	2.0	0.3

４．貿易・投資

（１）貿易

（イ）貿易額（アルメニア統計委員会）

輸出（2024年）：131.7億ドル（対前年比53.6%増）／輸入（2024年）：170.7億ドル（同33.7%増）。

（ロ）主要貿易国:構成比（アルメニア統計委員会）

輸出（2024年）：①UAE（40.0%）、②ロシア（24.2%）、③香港（13.4%）。

輸入（2024年）：①ロシア（54.1%）、②中国（10.1%）、③ベトナム（5.2%）。

（ハ）主要輸出入品目群:構成比（アルメニア統計委員会）

輸出（2024年）：①貴金属、貴石および同製品（61.3%）、②機械・設備・輸送機器（12.3%）、
③食料品、農産品（10.3%）。

輸入（2024年）：①貴金属、貴石、同製品（43.2%）、②機械・設備・輸送機器（22.6%）、
③食料品、農産品（8.7%）。

（２）日本との関係

（イ）日本との貿易（財務省貿易統計）[年平均レート　輸出＄1=151.05円/輸入＄1=150.96円　で換算]

日本の輸出（2024年）：2,256.7万ドル。建設・鉱山用機械（33.6%）、ゴムタイヤ（11.5%）、香料（10.9%）。

日本の輸入（2024年）：4,408.6万ドル。衣類（57.7%）、紙巻たばこ（19.9%）、
アルミニウム及び銅合金（17.8%）。

（ロ）二国間条約（外務省ウェブサイトより）

2005年6月　日・アルメニア技術協力協定署名。

2018年2月　日・アルメニア投資協定署名（2019年5月発効）。

2024年12月　日・アルメニア租税条約署名

（ハ）在留邦人数（2024年10月現在）：45人。（外務省ウェブサイトより）

（ニ）在日当該国人数（2024年6月現在）:73人。（外務省ウェブサイト/現出所法務省より）